



【令和元年度衛生科幹部等集合訓練（第63回北部防衛衛生学会）】

令和2年1月29日

1月29日（水）自衛隊札幌病院（病院長 大鹿陸将）は、北海道青少年会館コンパスにおいて、令和元年度衛生科幹部等集合訓練（第63回北部防衛衛生学会）を開催した。

学会長（大鹿陸将）は、本学会のテーマを『新たな時代における衛生の躍進』とし、訓練開始にあたり、令和という新たな時代において自衛隊衛生の進むべき未来についての議論をしてもらいたいと挨拶した。

北部方面総監（吉田陸将）は、「時代の大転換期における我が国の安全保障」と題した講話において、時代における日米同盟の役割、我が国を取り巻く戦略環境における北海道の役割、リーダーに求められる資質について述べ、衛生にとって極めて重要なことは、第一線救護、後送という所を徹底的に詰め、いかに損耗を減らすか、災害救援は傷病者に対する情報共有、広域搬送に対する他の組織との協力を如何に進めるかに尽きると述べられた。

特別講演では、防衛問題研究家の桜林美佐講師をお招きし、「世界の視点から見る自衛隊のこれから」についてご講演いただき、国際平和協力活動が現地での活動からアジアやアフリカの国々に教育し、能力を付与する支援に変わっていくと述べられた。



北部方面総監（吉田陸将）による総監講話



学会長（大鹿陸将）による開会挨拶



桜林講師による特別講演



【令和元年度衛生科幹部等集合訓練（第63回北部防衛衛生学会）】

令和2年1月29日

教育講演では、札幌医科大学保健医療学部の今井富裕教授をお招きして、「パーキンソン病治療の変遷」についてご講演いただき、治療の歴史や日常生活に表れる症状、投薬による副作用について映像を交えながらわかりやすく説明するとともに、今後の治療の展望について述べられた。

一般演題としては部隊等から7題の発表があり、第5旅団司令部衛生班の「離島医務室を活用したDCSの検証及び収容所の開設・運営に関する考察」と、別海駐屯地業務隊衛生科の「別海駐屯地禁煙施策について」が優秀演題として表彰された。

パネルディスカッションでは、「新たな時代における人材育成を考える」をテーマとし、当院副院長の菊池将補を座長として、陸上幕僚監部衛生部医務・保健班長（小俣1佐）、自衛隊中央病院看護部長（曾田1佐）、陸上自衛隊衛生学校教育部運用教官室総括担当教官（吉武2佐）、北部方面衛生隊長（蝶野1佐）、第7後方支援連隊衛生隊長（中村3佐）、当院前任診療科部長（吉積1佐）、当院診療技術部研究検査課長（大坂3佐）7名のパネリストによる発表の後、人材育成に関する現状と課題について討論を行い、任務・役割及び時代の要請に応じた人材育成、一般の有資格者と遜色のない技能の維持、救命ドクトリンを達成するための運用のスペシャリストの養成等について活発な討論が行われた。以上の講演等によって、本集合訓練の目的である、「衛生科隊員の衛生科部隊運用、治療・後送、健康管理、メンタルヘルス、防疫及び衛生器材等に関する識能の向上」を達成し、新たな時代における衛生の躍進を確信する1日となった。



パネルディスカッションにおける討論



一般演題の発表



今井教授による教育講演